

UR 都市機構は岩手県の要請を受け災害公営住宅を建設 ～内陸部の災害公営住宅建設事業（盛岡市（仮称）南青山アパート）～

記

1 概要

岩手県が新たに整備を計画している内陸部の災害公営住宅（県営 6 地区）については、8 月までに仮入居募集の受付が全て完了したところです。

そのうち、（仮称）南青山アパートについて、9 月 5 日付で岩手県より、同 8 日付で盛岡市より UR 都市機構に災害公営住宅建設の要請があり、UR 都市機構はこれを受諾しました。建物完成は 2019 年度の予定です。

2 地区概要（位置図 別添 1）

盛岡市南青山地区

- ・ 建設戸数 約 112 戸
- ・ 事業期間 2017 年度～2019 年度（予定）
- ・ 地区面積 約 1.2 h a

3 その他

- ・ 建設要請書（別添 2）
- ・ 東日本大震災における UR 都市機構の復興支援（別添 3）
- ・ （参考）UR 都市機構ホームページ <http://www.ur-net.go.jp/saigai/>

以 上

お問い合わせは下記へお願いします

独立行政法人都市再生機構岩手震災復興支援本部
総務企画部総務企画課（広報担当）

（電話） 019-604-3025

位置図(盛岡市南青山地区)



区域図(盛岡市南青山地区)



建 住 第 525 号
平成 29 年 9 月 5 日

独立行政法人都市再生機構
岩手震災復興支援本部長 栗原 徹 様

岩手県知事 達増 拓也



災害公営住宅の建設等について（要請）

平素より建築住宅行政の推進にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、本県では平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により甚大な被害が生じ、被災者のための災害公営住宅について緊急に建設する必要があります。

このため、貴機構において災害公営住宅を建設した上で、岩手県に譲渡していただきたく、独立行政法人都市再生機構法（平成 15 年法律第 100 号）第 14 条第 3 項の規定に基づき、下記のとおり災害公営住宅の建設及び譲渡（これに附帯する業務を含む）に関する計画を示し、その実施を要請します。

記

- | | |
|-----------|---|
| 1 地区の名称 | 盛岡市南青山地区 |
| 2 事業区域 | 岩手県盛岡市南青山町 217 番 4 外（別図） |
| 3 事業の内容 | 独立行政法人都市再生機構法第 11 条第 1 項 16 号による 賃貸住宅の建設及び譲渡（これに附帯する業務を含む） |
| 4 賃貸住宅の戸数 | 約 112 戸 |
| 5 施行期間 | 平成 29 年度から平成 31 年度まで（予定） |
| 6 その他 | 本事業の実施にあたっては、費用負担及び住宅の買取りについての契約を締結する。その他必要な事項は、別途協議する。 |

担 当 県土整備部建築住宅課 住宅課長 辻村
電話番号 019-629-5933

(仮称)県営南青山アパート位置図



出典：国土地理院地図

29 盛危第 38 号

平成 29 年 9 月 8 日

独立行政法人都市再生機構

岩手震災復興支援本部長 栗原 徹 様

盛岡市長 谷 藤 裕 明



災害公営住宅の建設等について（要請）

平素、当市の復興推進事業に御理解と御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、岩手県では平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により甚大な被害が生じ、内陸の本市においても被災者のための災害公営住宅を緊急に建設する必要があります。

このため、貴機構において災害公営住宅を建設したうえで、岩手県に対して譲渡していただきたく、独立行政法人都市再生機構法（平成 15 年法律第 100 号）第 14 条第 3 項の規定に基づき、下記のとおり災害公営住宅の建設及び譲渡（これに附帯する業務を含む）に関する計画を示し、その実施を要請します。

記

- | | |
|-----------|---|
| 1 地区の名称 | 盛岡市南青山地区 |
| 2 事業区域 | 岩手県盛岡市南青山町 217 番 4 外 |
| 3 事業の内容 | 独立行政法人都市再生機構法第 11 条第 1 項 16 号による賃貸住宅の建設及び譲渡（これに附帯する業務を含む） |
| 4 賃貸住宅の戸数 | 約 112 戸 |
| 5 施工期間 | 平成 29 年度から平成 31 年度まで（予定） |
| 6 その他 | その他必要な事項は、別途協議する。 |

担当：盛岡市総務部危機管理防災課

復興推進係 主査 齋藤拓也

電話 019-613-8386

E-mail kikikanri@city.morioka.iwate.jp

(仮称)県営南青山アパート位置図



出典：国土地理院地図



一日も早い東北の復興へ
全力で取り組んでいます

東日本大震災における UR都市機構の復興支援

女川町女川駅周辺



山田町山田中央地区



塩竈市浦戸寒風沢地区



桑折町桑折駅前地区

——— 街に、ルネッサンス ———



UR都市機構

平成29年2月版



独立行政法人都市再生機構
(UR都市機構)
理事長 中島 正弘

復興支援と、さらに安全・安心なまちづくりを目指して

東日本大震災により被災された皆様にご心からのお見舞いを申し上げます。

UR都市機構では、発災直後より被災地へ職員を派遣し、復旧・復興活動に取り組んでまいりました。現在、当機構の技術力、住宅・まちづくりの実績・ノウハウを活用し、安全管理、品質管理に努めつつ、現地450名を超える体制で復興市街地整備や災害公営住宅の建設等を着実に進めてきています。

平成28年度から「復興・創生期間」という新しいステージに入り、ハードの進捗だけでなく、ソフト面でのきめ細かい対応も求められています。当機構としても「まちに人が戻る」ことを目指して、中心市街地の再生やコミュニティ形成の支援などにも積極的に取り組んでまいります。

引き続き、被災された皆様が一日でも早く安心した生活を送れるよう、全力をあげて復興支援に取り組む、より安全・安心なまちづくりに貢献していきます。

UR都市機構は、現地450名体制で復興支援に取り組んでいます。



復旧支援

UR賃貸住宅(延べ970戸)の提供
応急仮設住宅建設用地(約8ha)の提供
応急仮設住宅建設支援要員(延べ181名)、
宅地危険度判定士(3名)の派遣

復興計画策定支援

被災自治体の復興計画策定支援等のため、
1県18市町村に延べ62名を派遣

復興まちづくり支援 ※主なトピックを抜粋

- H24.1 岩手県山田町と初の覚書交換
- H24.2 宮城県塩竈市から初の災害公営住宅の建設要請
- H24.3 宮城県女川町とパートナーシップ協定締結
- H24.9 陸前高田市高田・今泉地区で初の事業受委託契約締結
- H24.10 女川町中心部・離半島部地区でCM方式を導入した工事発注、業者決定
- H25.8 大槌町大ケロ地区でUR第一号となる災害公営住宅が竣工
- H26.3 復興市街地整備事業22地区すべてで工事着手
- H27.3 JR女川駅周辺まちびらきを宣言
- H27.5 JR仙石線が全線開業
- H28.2 釜石市花露辺地区が事業完了



- (Blue circle) 震災復興支援本部(盛岡市、仙台市) 事業の統括、設計、工事発注、契約手続を行います。
- (Red circle) 復興支援事務所(12箇所)を設置する自治体 現地に事務所を設置し、市街地整備、住宅整備を推進します。
- (White circle) 復興まちづくりを支援する自治体 主に震災復興支援本部を拠点に、市街地整備、住宅整備、事業コーディネート、人的支援等を行います。

UR都市機構の復興まちづくり支援地区

| 自治体 | 市街地整備事業 | | | 災害公営住宅建設 | | コーディネート等 | |
|-------|------------------------|------------------------|-------------------------|---|---|-------------------------|--|
| | 事業受託地区 | 計画面積 | 事業期間 (年度) ※清算期間除く | 要請地区 (下線は完成地区※一部完成地区含む) | 計画戸数 | | |
| 岩手県 | 野田村 | | | | | 土地区画整理事業 コーディネート(城内) | |
| | 宮古市 | 田老 | 45ha | H24～28 | | | |
| | | くわがきき ころがんじ 鎌ヶ崎・光岸地 | 24ha | H25～29 | | | |
| | 山田町 | おおさわ 大沢 | 19ha | H24～28 | おおうらだい 大浦(大浦第1)、大浦(大浦第2)、 <u>山田(山田中央)</u> 、 | 208戸 | |
| | | やまだ 山田 | 56ha | H24～30 | おりかさあとほま 織笠(織笠跡浜)、 | | |
| | | おりかさ 織笠 | 13ha | H24～28 | おおさわしょうがっこうわき しもじょう 大沢小学校脇、下条 | | |
| | 大槌町 | ましかた 町方 | 40ha | H24～29 | おがくち やじきまえ おがくち にちようめ まきない ましかた ずえびらちよう 大ケロ、 <u>屋敷前</u> 、 <u>大ケロ二丁目</u> 、 <u>榎内</u> 、 <u>町方(末広町)</u> 、 | 243戸 | 工事発注支援 (浪板等5地区) |
| 釜石市 | かたきし 片岸 | 23ha | H24～30 | 花露辺、鶴住居、片岸 | 152戸 | | |
| | うのすまい 鶴住居 | 60ha | H24～30 | | | | |
| | はなづ 花露辺 | 2ha | H24～27 | | | | |
| 大船渡市 | おおふなとえきしゅうへん 大船渡駅周辺 | 36ha | H25～31 | うつのまわ あかさわ うつやま たいらぼかし かおら たこのうら とろがしひがし 宇津野沢、赤沢、上山、平林、川原、蛸ノ浦、所通東、 | 227戸 | | |
| | | | | やまぐち とまり のちのいり おおほら すざした ききはま 山口、川原その2、泊里、後ノ入、大洞、杉下、崎浜 | | | |
| 陸前高田市 | いまいずみ 今泉 | 112ha | H24～30 | しもおの みずかみ おおの たばた おきべ 下和野、水上、大野、田端、長部、今泉 | 269戸 | | |
| | たかた 高田 | 186ha | H24～30 | | | | |
| 宮城県 | 気仙沼市 | ししおり 鹿折 | 42ha | H24～29 | なんごう したんだ 南郷、四反田、鹿折、南気仙沼、気仙沼駅前 | 1,033戸 | 工事発注支援 (漁業集落防災機能強化事業19地区等) |
| | | みなみけせんぬま 南気仙沼 | 33ha | H24～29 | | | |
| | 南三陸町 | しつがわ 志津川 | 111ha | H24～30 | いりやまぐらおん うたつなだり 入谷桜沢、歌津名足、志津川東(第1)、 | 432戸 | |
| | | | | | 志津川東(第2)、志津川中央 | | |
| | 女川町 | 中心部 | 218ha | H24～30 | 女川町民陸上競技場跡地、女川駅北、ずい道、 | 561戸 | 戸建災害公営住宅買取事業 を技術支援 |
| | | 離半島部 | 54ha | H24～30 | あらだて おおみち 荒立・大道①、荒立・大道③、西区 | | |
| | 石巻市 | じんかのわき 新門脇 | 24ha | H25～29 | おおかいどうにし いずみちよう 大街道西二丁目、泉町四丁目、 <u>大街道北二丁目</u> 、 | 436戸 | ・工事発注支援 (半島部46地区) ・事業推進技術支援 (市街地部) ・市街地整備事業の検討 |
| | | | | | なかさと 中央一丁目、駅前北通り一丁目、 <u>中里一丁目</u> 、 | | |
| | | | | ふどうちよう かどのわき 不動町二丁目、中央一丁目南、門脇 | | | |
| 東松島市 | のびるぼくおきゅうりよう 野蒜北部丘陵 | 92ha | H24～29 | 東矢本駅北、野蒜北部丘陵 | 477戸 | | |
| | ひがしやもとえききた 東矢本駅北 | 28ha | H24～28 | | | | |
| 塩竈市 | | | | いほし いしにしちちよう うらとがうらしま うらどのめしま うらとまきまお 伊保石、錦町、浦戸桂島、浦戸野々島、浦戸寒風沢、 | 355戸 | | |
| | | | | うらとほおしま しみずさわ にしちちようひがし 浦戸朴島、清水沢、錦町東 | | | |
| 多賀城市 | | | | きくらま つるがや にいだ みやうち 桜木、鶴ヶ谷、新田、宮内 | 532戸 | | |
| 名取市 | | | | しもますだ たかやなぎつじ 下増田、高柳辻 | 100戸 | | |
| 福島県 | 福島県 | | | うちごらみやまち おなほまおほら いずみまちほんや きたよしまながわら 内郷宮町、小名浜大原、泉町本谷、北好間中川原、 | 732戸 | | |
| | | | | なごまきかい 勿来酒井 | | | |
| | 新地町 | | | あたごほがし 愛宕東 | 30戸 | | |
| | 桑折町 | | | ごおひえきまえ 桑折駅前 | 47戸 | | |
| | 浪江町 | | | | | 復興拠点等の技術支援 | |
| | 双葉町 | | | | | 復興拠点等の技術支援 | |
| | 大熊町 | | | | | 事業計画策定支援 (大川原) | |
| | 須賀川市 | | | | | 市街地再開発事業支援 (須賀川市八幡町) | |
| | 鏡石町 | | | | | 復興まちづくり事業計画策定 | |
| いわき市 | うすいそ 薄磯 | 37ha | H24～29 | | | | |
| | とよま 豊間 | 56ha | H24～30 | | | | |
| 24自治体 | 計22地区 | 約1,300ha | | 計85地区 | 5,834戸 | (H29.2.1時点) | |

復興市街地整備事業 —被災自治体からの委託により、URが安全な市街地を整備します—

土地区画整理事業、防災集団移転促進事業等により、被災した市街地の嵩上げや高台に住宅地の整備を行います。



災害公営住宅整備事業 —被災自治体からの要請により、URが住宅を建設し、完成後譲渡します—

被災により住まいを失われた方、原子力災害により避難を余儀なくされている方のための公営住宅を整備します。



復興市街地整備事業事例紹介

宮城県女川町 中心部地区(218ha)

高台の造成により、浸水しない安全な住宅地を整備するとともに、既存の住宅地の近傍でも安全に居住できるエリアとして、盛土による住宅地の整備も行います。低地部は、商業・業務、観光業、水産業用地として活用します。



女川駅開業 平成27年3月



駅前商業エリア開業式 平成27年12月

岩手県宮古市 田老地区(45ha)

従前のコミュニティに配慮しつつ高台移転を行うとともに、振替えを行う国道45号から山側で高上げ市街地を整備してきました。平成27年度末までに全地権者へ宅地の引渡しが完了しました。



まちびらき記念式 平成27年11月



高台住宅地の状況 平成28年4月



(H28. 11撮影)

宮城県南三陸町 入谷桜沢地区



配置図



3DKプラン

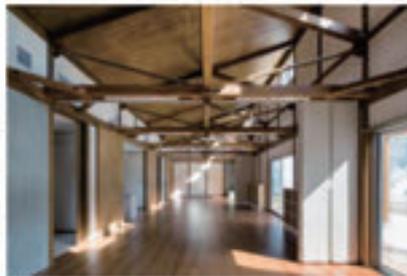


R C造3階建 42戸
(集会所：木造平屋)
平成26年7月竣工

- 地域の防災拠点整備
集会所内等に防災倉庫の設置や、広場に、炊き出しができる場所や防災ベンチをつくりました。
- 高齢者・子育て層の安心居住
車が進入しない中庭をつくり、広場周りにコミュニティーベンチを配置しました。
- 地域に根ざした住宅建設
地域と公営住宅をつなぐ集会所や通り土間を介して玄関ポーチとバルコニーがつながる住宅をつくりました。
- 平成27年にグッドデザイン賞を受賞



A棟南側中庭/防災ベンチ(右端)



集会所



岩手県大槌町・町方末広町地区53戸(H28.3完成)



宮城県塩竈市・浦戸桂島地区13戸(H27.2(8戸), H27.12(5戸)完成)



福島県桑折町・桑折駅前地区47戸(H27.5完成)

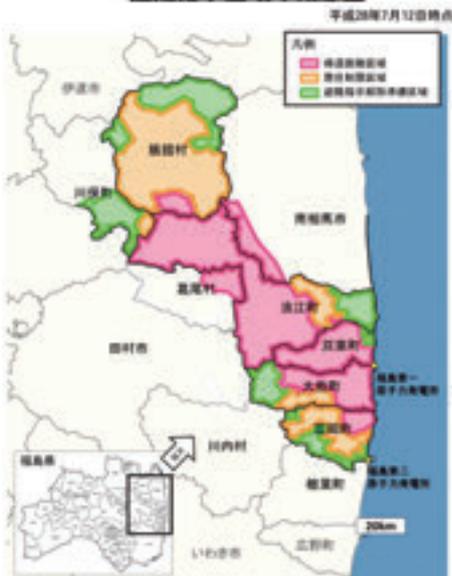
福島県の避難区域等における復興支援

○復興市街地整備事業

■大熊町が町土復興・再生の第一ステップとして位置付けた「大川原地区復興拠点」に係る基本計画及び基本設計を大熊町より受託。福島復興再生拠点整備事業(一団地の復興再生拠点市街地形成施設)を活用した復興まちづくりの事業化を支援

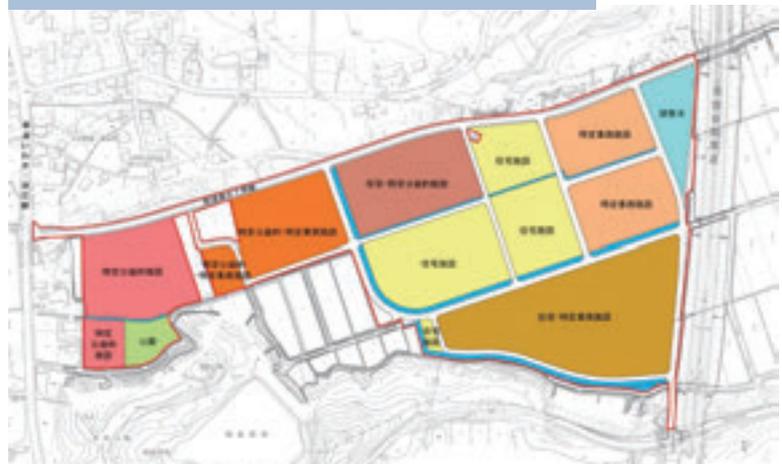
■双葉町、浪江町と「復興まちづくりの推進に向けた覚書」を交換(双葉町:平成28年9月 浪江町:平成28年11月)。復興まちづくりに関する計画、調査、設計等に関し、URが技術的な助言、提案、ノウハウの提供その他の技術支援を行うことにより、復興まちづくりの加速化に協力

避難指示区域の概念図



(経済産業省ウェブサイトより)
<http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html>

大川原地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設
 土地利用計画図



(大熊町ウェブサイトより)
<http://ohkuma.mai.depot.jp/fukkou/>

○原子力災害に伴う避難者向け復興公営住宅の整備



地図使用承認©昭文社第56G107号

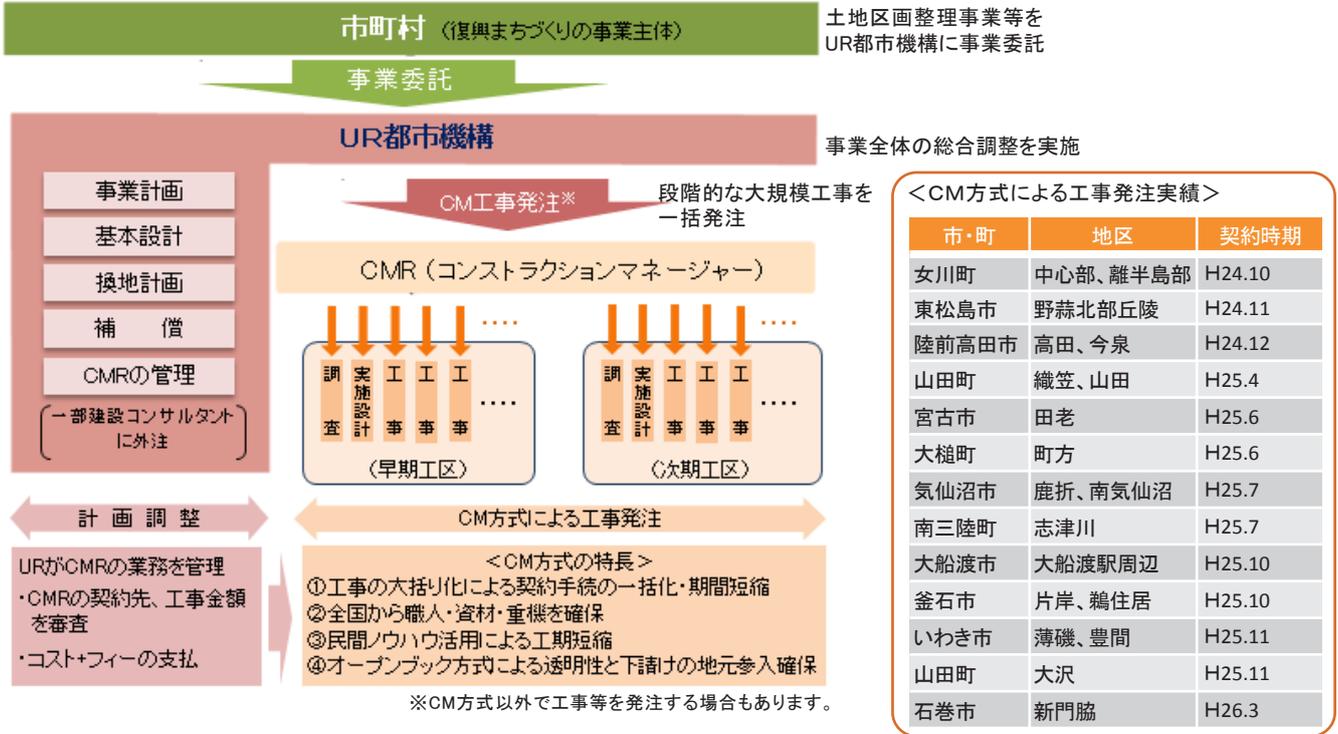
- 福島県と災害公営住宅整備に係る協定締結(平成25年11月)
- 福島県がいわき市に整備する復興公営住宅1,768戸のうち、約730戸について、URが建設予定

内郷宮町地区 H28.5完成・引渡し済



CM(コンストラクション・マネジメント)方式による復興の加速化

民間ノウハウを活用し、効率的でスピーディーな復興事業を推進するため、段階的な工事を大括り化し、設計・施工・マネジメントをまとめて発注するシステム(CM方式)をURが先導的に導入しています。



CM方式の活用事例～宮城県東松島市・野蒜北部丘陵地区(92ha)～



野蒜北部丘陵地区では、仙石線の早期復旧及び集団移転先となる高台宅地の早期完成を目標として、CM方式を活用した基盤整備を進めています。目標達成のためには、高台で発生する大量の土砂をいかに迅速に搬出するかが課題でしたが、URとCMRが相互に連携し、ベルトコンベアを活用して短期間で土砂搬出を完了しました。目標通り、平成27年5月30日には仙石線が全線再開し、平成28年11月に高台宅地をすべて引き渡しました。



ベルトコンベア(現在撤去済み)



H27.5に開業した野蒜駅



H28.11時点 東名駅周辺

復興まちづくりコーディネート業務の実施

被災自治体からの委託により、URはまちづくりの実績や技術力を活かし、復興まちづくり事業計画策定業務、工事発注支援業務等を実施しています。

○市街地再開発事業支援業務(福島県須賀川市)

■市庁舎の再建と防災拠点の形成を目指す市街地再開発事業支援業務をURが受託

○復興まちづくり総合支援業務(岩手県野田村・城内地区)

■村から復興市街地整備事業(城内地区土地区画整理事業)のコーディネート業務をURが受託。職員2名を派遣

■復興庁・県等関係機関との調整、住民への事業説明会、区画整理審議会運営等をURが中心となって実施

○発注者支援業務

被災自治体の工事発注支援(岩手県大槌町、宮城県気仙沼市、宮城県石巻市)

■被災自治体が発注する複数地区の復興工事を大括り化し、特に技術力と中立性を要するCM方式による工事発注業務(工事費積算、発注関連図書作成、提案審査等)をURが受託

■工事発注後の管理CMRの指導等、URが定期的にフォローアップ

事業推進技術支援(宮城県石巻市)

■市内で行われる復興関連工事の事業間調整業務をURが受託

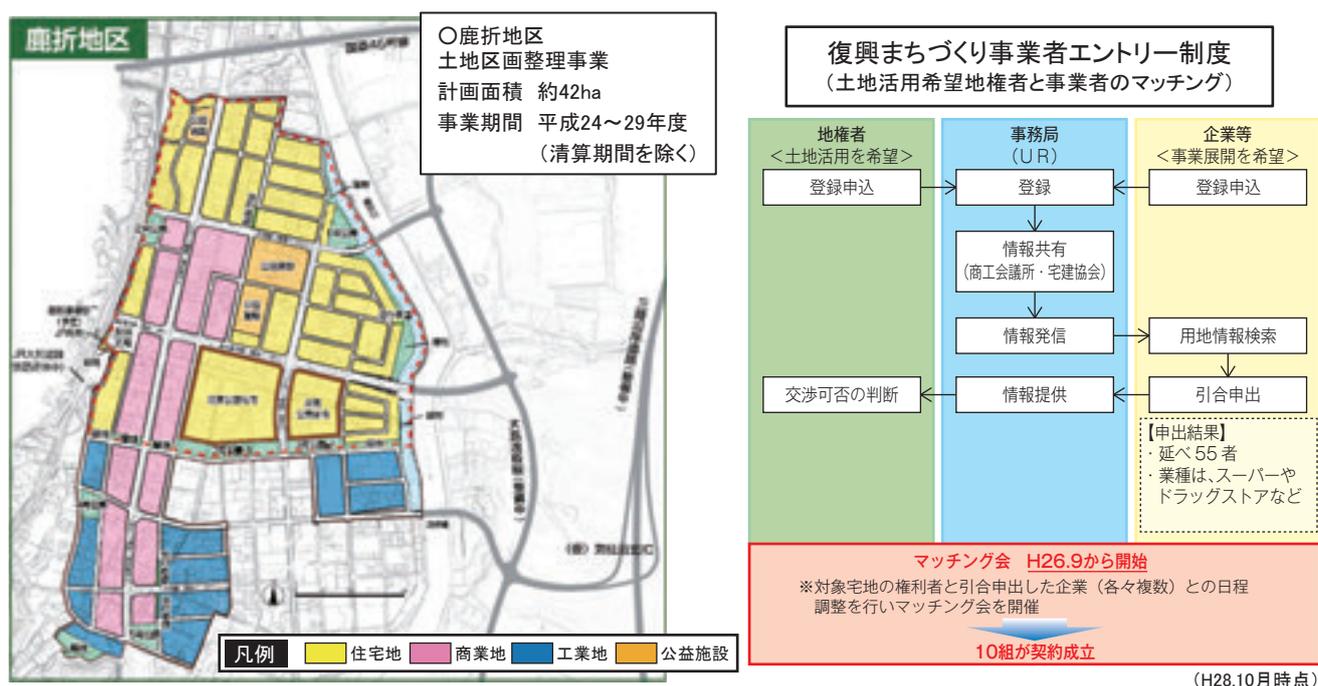
○災害公営住宅買取業務技術支援(宮城県女川町)

■買取事業スキーム作成、住宅基本計画検討、設計図書・事業費・工事進捗確認等の技術支援業務をURが受託

被災された方々の生業や生活の再建に向けて

○商業・産業誘致の取組(宮城県気仙沼市・鹿折地区・南気仙沼地区)

気仙沼市・UR・商工会議所・宅地建物取引業協会が共同で地区内の土地活用希望の地権者と進出企業を募集し、マッチングを行います。平成26年9月からマッチング会が始動しています。



○災害公営住宅におけるコミュニティ形成支援の取組

○岩手県陸前高田市 今泉・長部地区での取組

災害公営住宅にお住まいになる方は、集合住宅に住むのが初めてという方も少なくなく、入居後の生活に不安を感じている方もいます。そうした入居前の不安を取り除き、逆に楽しみに変えてもらうため、陸前高田市や岩手大学、地元の社会福祉協議会と連携し、入居前からコミュニティ形成支援を実施しています。

■実施概要

「建設現場と先に完成した同じ型式の水上団地の見学・交流バスツアー」を完成4か月前に実施

【目的】

- 造成工事・建物工事が進んでいる様子を確認
- 住宅内を見学し、より具体的な生活をイメージ
- 入居予定者間の顔合わせ・親睦の機会創出

平成29年4月の入居後、スムーズな交流活動が期待されます。



今泉地区



長部地区



今泉・長部地区の建設現場見学
(バスの車窓から)



住戸見学 水上団地（入居済）の空家



昼食会・交流会

○宮城県塩釜市 清水沢地区での取組

UR都市機構では、塩釜市と平成28年4月に「コミュニティ形成」に係る協力協定締結し、災害公営住宅にお住まいの方のコミュニティ形成の支援に取り組んでいます。

具体的に以下の取組を実施

- 交流会等による入居者や地域住民との交流促進
- 集会所等での自主的な住民交流の促進
- 災害公営住宅の自治組織の立上げ支援
- 入居者キーパーソン、地元ボランティア等担い手発掘
- コミュニティ活動を基盤とした集いの場や見守り等、地域支えあい活動の立上げや取組の支援



入居者交流イベントの様子

住民意見支援会

入居者主体でイベントの開催

被災地の復興状況等の発信

○東日本大震災復興フォト&スケッチ展の開催

復興への歩みを広く発信し、東日本大震災からの復興を支援するため、復興に関する写真・スケッチの公募展を2014年から開催しています。

3回目の開催となった復興フォト&スケッチ展2016では、『復興の歩み～つなぐ みんなの想い～』をテーマに募集を行い、349作品（フォト326作品／スケッチ23作品）のご応募をいただきました。

平成28年12月に受賞作品を発表し、作品展を行っております。

【 フォト&スケッチ展過去の受賞作品 】



2016年 復興の歩み大賞（フォト）
『記録と記憶』
場所：宮城県松島町



2016年 復興の歩み大賞（スケッチ）
『復興に流れる白滝～大風景榎』
場所：岩手県上閉伊郡大槌町



2015年 復興の歩み大賞（フォト・スケッチ）



2014年 復興の歩み大賞（フォト・スケッチ）

お問い合わせ

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）

（本社）震災復興支援室
〒231-8315
神奈川県横浜市中区本町6-50-1
横浜アイランドタワー8階
TEL:045-650-0876 FAX:045-650-0366

（宮城・福島）宮城・福島震災復興支援本部
〒983-0852
宮城県仙台市宮城野区榴岡4-6-1
東武仙台第1ビル7階
TEL:022-355-4531 FAX:022-291-8891

（岩手）岩手震災復興支援本部
〒020-0021
岩手県盛岡市中央通1-7-25
朝日生命盛岡中央通ビル8階
TEL:019-604-3066 FAX:019-604-3028